

エコアクション21 環境経営レポート



2023年度版

活動期間：2023年6月1日 ～ 2024年5月31日

発行日：2024年7月31日



総合建設業

株式会社 清水建築工業

目 次

☆1 組織の概要

☆2 環境経営組織図及び役割・責任・権限表

☆3 環境経営方針

☆4 環境経営目標及びその実績

☆5 環境経営計画

☆6 環境経営計画の取組結果・評価並びに
次年度の環境経営目標及び環境経営計画

☆7 環境関連法規等の遵守状況の確認,
評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

☆8 代表者による全体評価と見直し・指示

☆ 1 組織の概要

●事業者名

株式会社 清水建築工業
代表取締役 清水 勇人

●所在地

本 社 福岡県北九州市八幡東区枝光4丁目1番13号
枝光倉庫・加工場 福岡県北九州市八幡東区大字枝光字堂山1790-5

●連絡先

環境管理責任者：清水 勇人
連絡担当者：山下 智子
TEL 093-681-4865 / FAX 093-681-1477
e-mail : shimizukenchiku@k3.dion.ne.jp

●事業の内容

総合建設業（建築工事業）

●設立

昭和42年 4月 . . . 設立
資本金 . . . 3000万円
事業年度 . . . 6月1日～翌年 5月31日
昭和63年 4月 . . . 法人化組織変更
平成22年 4月 . . . 本社事務所移転
平成28年 3月 . . . 倉庫移転
平成31年 4月 . . . 作業場移転
福岡県知事許可（特-4）第 71136 号

●事業の規模

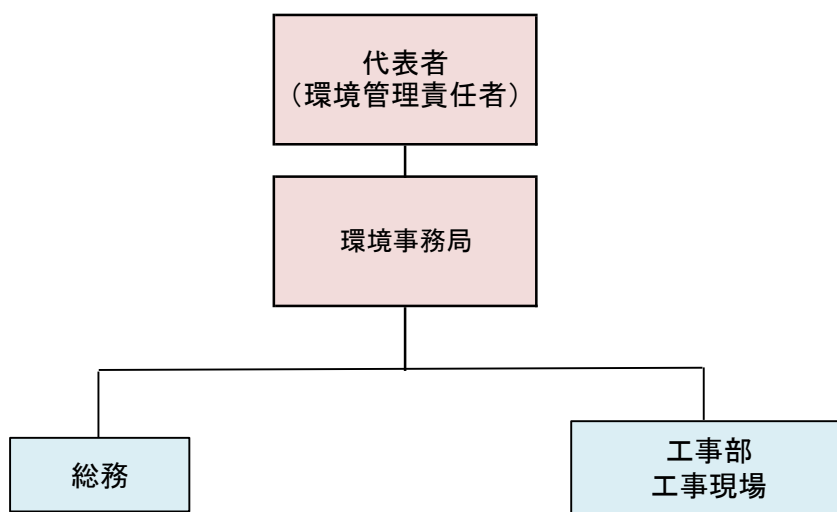
活動規模	単位	2020年	2021年	2022年	2023年
売上高	百万円	459	530	823	504
従業員数	人	12	12	15	12
事務所床面積	m ²	75	75	75	75
倉庫床面積	m ²	199.09	199.09	199.09	199.09
作業場床面積	m ²	120	120	120	120

●認証・登録範囲

全組織・全活動・全従業員

☆2 環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日： 2019年7月30日



	役割・責任・権限
代表者(社長) 環境管理責任者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認 ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

☆ 3 環境経営方針

●基本理念

(株)清水建築工業は、地球規模での環境悪化を個々の課題と認識し、地球に優しい企業を目指し、環境に配慮した事業活動を行います。

●行動指針

事業活動における環境への影響を理解し、社員一丸となって以下の事項について自主的・積極的に取り組みます。

○二酸化炭素排出の削減に取り組みます。

○省資源、リサイクル活動等の取り組みを行います。

- 資源の再利用を積極的行います。
- 電力、ガソリン、軽油の使用量削減に努めます。
- 水使用量の削減に努めます。
- 廃棄物の抑制、リサイクルに努めます。

○建設現場における景観・環境保全に努めます。

○環境関連法規制を遵守します。

○社員全員へ環境教育を行い、環境対策の知識向上の為に会議を定期的に行います。

○環境経営の継続的改善を誓約します。

2009年 8月10日 制定
2021年7月30日 改定

代表取締役 清水 勇人

☆4 環境経営目標及びその実績

～ 環 境 経 営 目 標 ～

2023年度及び中期環境経営目標

○ 事務所の水使用量に関しては、基本使用量以下であり、これを維持していく。

①事業所(事務所・倉庫)

項目	単位	基準年度 2021年度実績	目標			
			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	4046.20	4025.97	4005.73 (△1.0%)	3985.50 (△1.5%)	3965.27 (△2.0%)
電力	kWh	8758.00	8,714.21 (△0.5%)	8,670.42 (△1.0%)	8,626.63 (△1.5%)	8,582.84 (△2.0%)

- ・事務所の廃棄物及び排水は現場の廃棄物に含めている。
- ・電力の排出係数は、2022年度の調整後排出係数0.462kg-CO₂/kWhを用いた。

②現場

項目	単位	基準年度 2021年度実績	目標			
			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	20322.66	20221.04 (△0.5%)	20119.43 (△1.0%)	20017.82 (△1.5%)	19916.20 (△2.0%)
	電力	kg-CO ₂	2840.38	2826.17	2797.77	2783.57
		kWh	6148.00	6117.26 (△0.5%)	6055.78 (△1.5%)	6025.04 (△2.0%)
	ガソリン	kg-CO ₂	12414.18	12352.11	12227.97	12165.90
		L	5350.94	5324.19 (△0.5%)	5270.68 (△1.5%)	5243.92 (△2.0%)
	軽油	kg-CO ₂	5068.10	5042.76	4992.08	4966.74
		L	1964.38	1954.56 (△0.5%)	1934.91 (△1.5%)	1925.09 (△2.0%)
廃棄物排出量	kg	47370.00	47133.15 (△0.5%)	46896.30 (△1.0%)	46659.45 (△1.5%)	46422.60 (△2.0%)
排水量	m ³	651.90	648.64 (△0.5%)	645.38 (△1.0%)	642.12 (△1.5%)	638.86 (△2.0%)
景観・環境保全	——	景観・環境 保全の徹底	景観・環境 保全の徹底	景観・環境 保全の徹底	景観・環境 保全の徹底	景観・環境 保全の徹底

③合計

項目	単位	基準年度 2021年度実績	目標			
			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素排出量 電力	kg-CO ₂	24368.85	24247.01 (△0.5%)	24125.16 (△1.0%)	24003.32 (△1.5%)	23881.47 (△2.0%)

☆4 環境経営目標及びその実績

2) 2023年度実績

①事業所(事務所・倉庫)

項 目	単 位	2023年度			
		目 標	実 績	達 成	
二酸化炭素排出量 電力	kg-CO ₂	4,005.73	3,555.55	113%	○
電力	kWh	8,670.42	7,696.00		

②現場

項 目	単 位	2023年度				
		目 標	実 績	達 成		
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	20,119.43	19,675.81	102%	○	
	電力	kg-CO ₂	2,811.97	3,698.00	76%	×
		kWh	6,086.52	120,537.00		
	ガソリン	kg-CO ₂	12,290.04	11,787.92	104.26%	○
		L	5,297.43	5,081.00		
	軽油	kg-CO ₂	5,017.42	4,189.89	120%	○
		L	1944.74	1,623.99		
廃棄物排出量	kg	46,896.30	206,207.00	23%	×	
排水量	m ³	645.38	168.00	384%	○	
景観・環境保全	――	景観・環境 保全の徹底	景観・環境 保全の徹底	――	○	

③合計

項 目	単 位	2023年度			
		目 標	実 績	達 成	
二酸化炭素排出量 電力	kg-CO ₂	24,125.16	23,231.36	104%	○

☆5 環境経営計画

●事業所

○二酸化炭素排出量の削減

- ・電力使用量の削減
 - トイレの洗浄器付便座の温度設定を季節ごとに確認する。
 - エアコンの稼働は不快指数表により行う。
 - 最後の人は電気の消し忘れ等のチェックを行う。
 - 消費電力の少ないLED照明等の導入を検討する。

○水使用量の節約

- 事務所での水使用量は、最低量なのでこれを維持するように心がける。

●現場

○二酸化炭素排出量の削減

- ・電力使用量の削減
 - 工事内容や工法により使用量が左右されるが
その中でも不要電力の削減を心掛け、節電を徹底し
消費電力を最小限に抑える。
- ・軽油使用量、ガソリン使用量の削減
 - ETCドライブ、タイヤの空気圧点検、定期的なエンジンオイルの交換等を実行し、燃費向上を目指す。
 - 現場に向かう際や事務所に戻る際は無駄な運転を避け
必要最低限の軽油使用量を目指す。

○水使用量の削減

- 常に節水を心がけ、無駄な使用を避ける。

○景観・環境保全の徹底

- 濁水の発生防止、騒音・振動発生の防止対策の採用、
検討を行う。
- 現場の整理整頓・清掃の徹底を心がける。

○廃棄物排出量の削減

- 端材・部材の転用を心がける。
- 3R（Reduce:リデュース:減らす、Reuse:リユース:繰り返し
使う、Recycle:リサイクル:再資源化）を常に心がける。

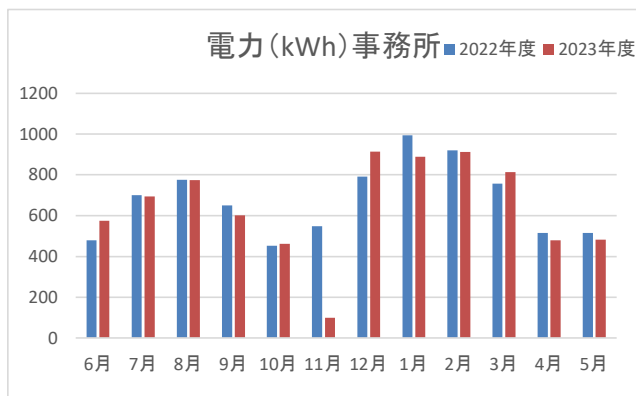
☆6 環境経営計画の取組結果とその評価 並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

数値目標:○達成 ×未達成

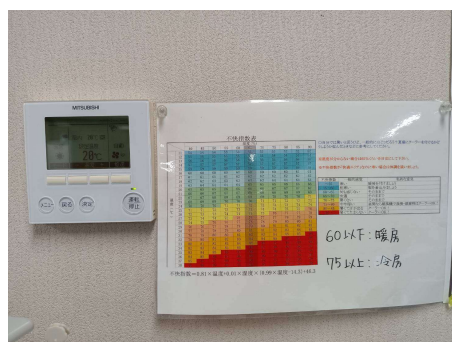
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

①事業所(事務所・倉庫)

取組計画電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標は達成できた。
トイレの洗浄器付便座の温度設定を季節ごとに確認	○	今年度もLED照明の導入ができなかった。
エアコンの稼働は不快指数表により行う。	○	次年度には導入の予定。
最後の人は電気等の消し忘れのチェックを行う。	○	
消費電力の少ないLED照明等の導入を検討	○	



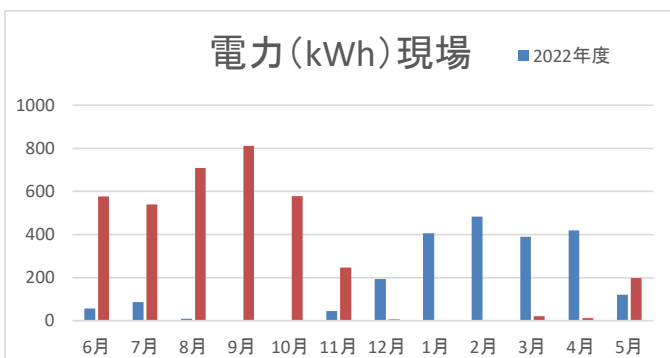
取組紹介欄



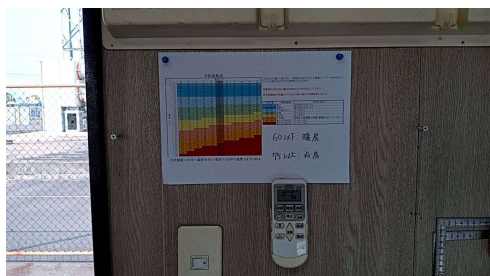
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2022年度	479	700	776	650	453	548	792	994	921	758	515	515
2023年度	575	694	774	602	461	99	915	889	912	813	479	483

②現場

取組計画電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	数値目標が未達成。
エアコンの稼働は不快指数表により行う。	○	基準年度に大型公共工事の電気使用量が含まれておらず、今年度は工期が11月迄の公共工事の電気使用量がカウントされた為、数値目標が達成できなかった。7月から本格的に始動した公共工事分の電気使用量も他社と一緒にカウントできなかった。次年度は目標達成できるように活動を続ける。
最後の人は電気等の消し忘れのチェックを行う。	○	



取組紹介欄



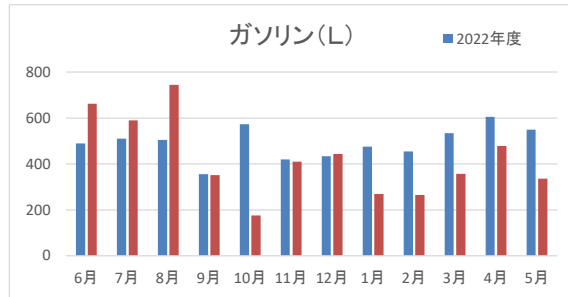
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2022年度	58	87	9	0	0	44	194	406	482	390	420	121
2023年度	576	539	708	811	578	247	7			22	12	198

☆6 環境経営計画の取組結果とその評価 並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

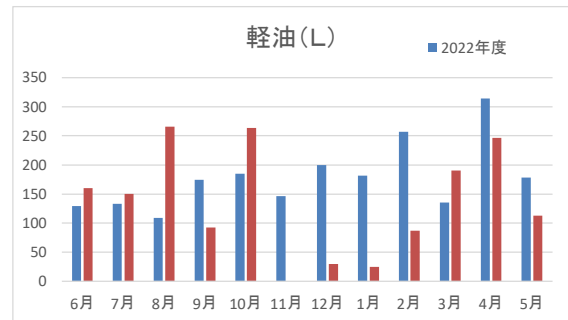
数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	今年度は市内の現場がメインだった為、目標達成できた。 次年度も引き続き、目標が達成できるように活動が続ける。
アイドリングストップ	○	
効率的なルートで配送	○	
定期的な車両点検の実施	○	



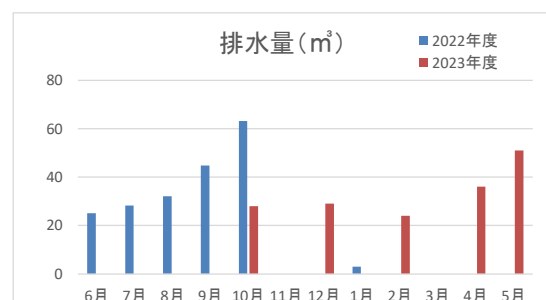
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2022年度	489.28	510.75	504.45	355.25	573.05	419.1	433.61	476.3	455.47	534.13	606.08	550.01
2023年度	662.35	589.63	744.44	350.62	175.24	410.77	443.51	269.28	263.92	357.19	478.1	335.95



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2022年度	129.23	133.11	109.25	174.2	184.93	146.37	200.1	181.6	256.73	135.3	314.08	178.52
2023年度	160.35	150.43	265.91	92.23	263.73	0	30	24.55	87	190.25	246.54	113

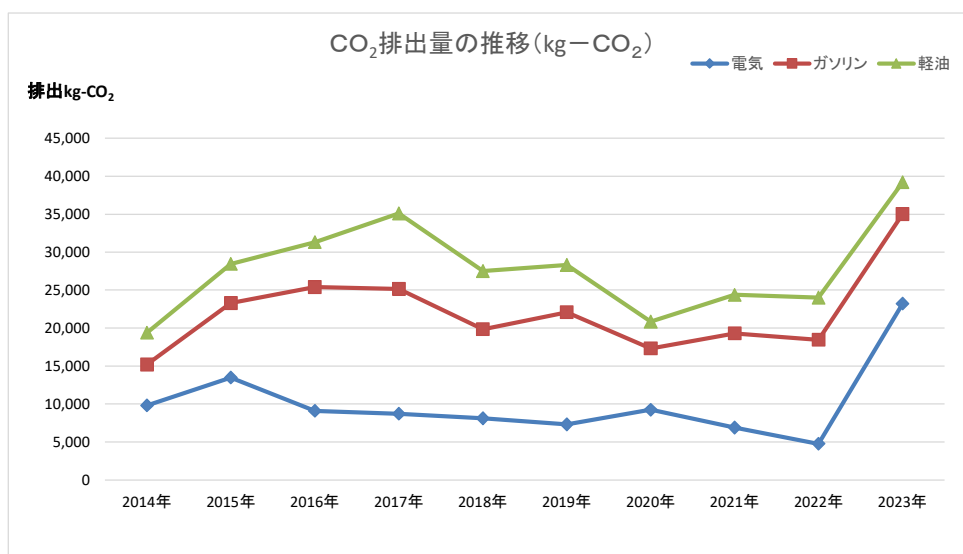
廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	数値目標未達成となった。今年度は駐車場工事を受注したので廃コンクリートの排出量が増加し、春からは大型現場の内装工事がはじまった為、石膏ボードの排出量が増加した。次年度も引き続き活動を行い、目標達成を目指す。
端材・部材の転用を心がける。	○	
3Rを常に心がける	○	

水道水の削減(工事現場)	達成状況	取組結果とその評価取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	数値目標は達成できた。 今年度は杭工事がある現場がなかったため、目標を大幅に達成することができた。来期も受注した内容に左右されるが引き続き、目標が達成できるように活動が続ける。
節水を心掛け無駄な使用を避ける	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2022年度	25.1	28.3	32.1	44.8	63.2	0	0	3	0	0	0	0
2023年度	0	0	0	0	28	0	29	0	24	0	36	51

☆6 環境経営計画の取組結果とその評価
並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画



	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
電気	9,817	13,474	9,089	8,735	8,119	7,317	9,250	6,887	4,764	23,231
ガソリン	5,378	9,830	16,321	16,407	11,739	14,760	8,078	12,414	13,705	11,788
軽油	4,191	5,138	5,907	9,951	7,642	6,241	3,515	5,068	5,530	4,190

・電力の排出係数は、2022年度の調整後排出係数0.462kg-CO₂/kWhを用いた。

☆7 環境関連法規等の遵守状況の確認, 評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

法規制等の名称	取組項目	遵守状況
廃棄物処理法	届出報告、届出内容変更、追加、更新、マニフェストの管理	遵 法
建設リサイクル法	契約書、届出書、報告書の管理、提出	遵 法
騒音規制法	届出書提出、変更、追加の管理	遵 法
振動規制法	届出書提出、変更、追加の管理	遵 法
フロン排出抑制法	簡易点検（3カ月に1回）	遵 法

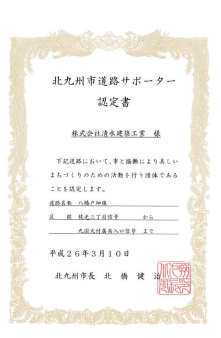
環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

☆8 代表者による全体評価と見直し・指示

次年度の環境経営計画は今年度を継続する。
今期は全体的には二酸化炭素の排出量の目標は達成できた。
杭工事のある現場がなかったので排水量は大幅に目標達成となったが、廃棄物が達成できなかった。どの値も工法により大きく変化するが、環境経営方針にしたがって活動を続ける。
今年度は福岡県SDGsにも登録したので更に社員全員で意識を向上させていく。

環境活動の様子

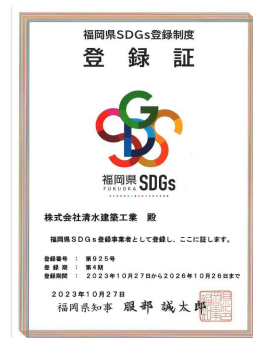
（北九州市道路サポーター）



（北九州SDGs）



（福岡県SDGs）



（エコ事業所）

